



交通バリアフリーニュース

公共交通事故被害者等支援フォーラムを開催

～徳島県徳島市～

【開催日時】 令和元年12月4日（水） 14:00～15:30

【開催場所】 徳島県トラック会館（徳島市北田宮2丁目14-50）

【出席者】 出席者総数：38名

（徳島県内バス事業者：25名、報道機関：2名、運輸局：5名、その他関係者：6名）

【概要】

公共交通事故被害者等支援フォーラム（※）

（1）「被害者の立場から～いのちの授業」 8・12連絡会事務局長 美谷島 邦子氏

（2）「公共交通事故被害者等支援の現状」 国土交通省四国運輸局

消費者行政・情報課長補佐 出海 博史

（※）本フォーラムは徳島県バス協会様が主催する、「バス事業の安全・安心運行に係る勉強会」において、美谷島氏の講演及び運輸局より「公共交通事故被害者等支援」の説明を行った。

なお、本勉強会は、平成29年に発生した徳島自動車道におけるバス事故を受け、同協会がナスバ（自動車事故対策機構）徳島支所に講師を委託し、講習や意見交換等をとおして、安全性を高めるためのとりくみとして実施している。平成30年度より四半期ごとに開催しており、今回が7回目の勉強会になる。



会場全景



美谷島 邦子氏 講演

バリアフリー法に基づく 四国におけるバリアフリー化の進捗状況

（公共交通事業者等からの公共交通移動等円滑化実績等報告書の集計結果概要）（平成 30 年度末）

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（以下「バリアフリー法」という。）第 53 条に基づく公共交通事業者等からの移動等円滑化実績等報告（平成 30 年度末における公共交通機関のバリアフリー化の状況）の四国における概要を以下のとおりお知らせいたします。

公共交通機関におけるバリアフリー化の進捗状況〈ポイント〉

◆全旅客施設（対象 33 施設）

・ 段差の解消	87.9%	（H29 年度末より	増減なし）
・ 視覚障がい者誘導用ブロック	93.9%	（ 同	増減なし）
・ 障がい者用トイレ	96.6%	（ 同	3.4ポイント増加）

※障がい者用トイレはトイレ設置施設（29 施設）のみを計上

◆車両等

・ 鉄軌道車両	24.6%	（H29 年度末より	1.4ポイント増加）
・ ノンステップバス	52.9%	（ 同	4.2ポイント増加）
・ 福祉タクシー	672 台	（ 同	21台減少）
・ 旅客船	61.8%	（ 同	6.0ポイント増加）

※福祉タクシーには、ユニバーサルデザインタクシーを含まない

バリアフリー基本方針（平成 18 年 12 月 15 日告示、平成 23 年 3 月 31 日改正、平成 31 年 4 月 1 日改正）において、令和 2 年度までに、1 日当たりの平均的な利用者数が 3,000 人以上の全ての旅客施設（鉄軌道駅、バスターミナル、旅客船ターミナル及び航空旅客ターミナル）について、原則としてバリアフリー化を実施する等の目標が掲げられています。

なお、車両等を含めた平成 30 年度末における四国における集計結果概要は、次ページに掲載しています。

公共交通事業者等からの移動等円滑化実績等報告書の集計結果概要
(平成31年3月31日現在)

バリアフリー法に基づき、公共交通事業者等は毎年6月30日までに移動等円滑化実績報告書を提出しなければならないこととなっています。

○ 旅客施設(1日当たりの平均的な利用者数が3,000人以上のもの)

〈段差の解消〉

旅客施設全体…(H30年度末87.9%)

(目標値:100%/R2年度)	総施設数		移動等円滑化基準(段差の解消)に適合している旅客施設数		総施設数に対する割合		
	H30年度末	H29年度末	H30年度末	H29年度末	H30年度末	対前年度増減	H29年度末
鉄軌道駅	28	28	24	24	85.7%	0.0	85.7%
バスターミナル	0	0	0	0	-	-	-
旅客船ターミナル	1	1	1	1	100.0%	0.0	100.0%
航空旅客ターミナル	4	4	4	4	100.0%	0.0	100.0%

1)「段差の解消」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第4条(移動経路の幅、傾斜路、エレベーター、エスカレーター等が対象)への適合をもって算定
2)航空旅客ターミナルについては、障害者等が利用できるエレベーター・エスカレーター・スロープの設置はすでに平成13年3月末までに100%達成されている

〈視覚障がい者誘導用ブロックの設置〉

旅客施設全体…(H30年度末93.9%)

(目標値:100%/R2年度)	総施設数		移動等円滑化基準(誘導用ブロックの設置)に適合している旅客施設数		総施設数に対する割合		
	H30年度末	H29年度末	H30年度末	H29年度末	H30年度末	対前年度増減	H29年度末
鉄軌道駅	28	28	26	26	92.9%	0.0	92.9%
バスターミナル	0	0	0	0	-	-	-
旅客船ターミナル	1	1	1	1	100.0%	0.0	100.0%
航空旅客ターミナル	4	4	4	4	100.0%	0.0	100.0%

1)「視覚障がい者誘導用ブロックの設置」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第9条への適合をもって算定

〈障がい者用トイレの設置〉

旅客施設全体…(H30年度末96.6%)

(目標値:100%/R2年度)	総施設数		移動等円滑化基準(障がい者用トイレの設置)に適合している旅客施設数		総施設数に対する割合		
	H30年度末	H29年度末	H30年度末	H29年度末	H30年度末	対前年度増減	H29年度末
鉄軌道駅	24	24	23	22	95.8%	4.2	91.7%
バスターミナル	0	0	0	0	-	-	-
旅客船ターミナル	1	1	1	1	100.0%	0.0	100.0%
航空旅客ターミナル	4	4	4	4	100.0%	0.0	100.0%

1)「障がい者用トイレの設置」については、バリアフリー法に基づく公共交通移動等円滑化基準第13条~15条への適合をもって算定
2)総施設数については、トイレを設置(停留場を除外)している旅客施設のみを計上

○車両等

(目標値R2年度)	車両等の総数		移動等円滑化基準に適合している車両等の数		車両等の総数に対する割合		
	H30年度末	H29年度末	H30年度末	H29年度末	H30年度末	対前年度増減	H29年度末
鉄軌道車両 (目標値:約70%/R2年度)	684	692	168	160	24.6%	1.4	23.1%
ノンステップバス(適用除外認定車両除く) (目標値:約70%/R2年度)	976	962	516	468	52.9%	4.2	48.6%
リフト付きバス(適用除外認定車両) (目標値:約25%/R2年度)	536	535	3	2	0.6%	0.2	0.4%
福祉タクシー (目標値:全国約44,000台/R2年度)	-	-	672	693	-	▲21台	-
旅客船(適用除外除く) (目標値:約50%/R2年度)	76	77	47	43	61.8%	6.0	55.8%

1)「移動等円滑化基準に適合している車両等」は、各車両等に関する公共交通移動等円滑化基準への適合をもって算定

その他、バリアフリー推進施策フォローアップ

(1) 総合的な整備の推進

* 交通事業者、自治体、国等の連携等により旅客施設や車両等のバリアフリー化が進みました。

<平成30年度中にバリアフリー化が進んだ鉄軌道駅>

☆ 段差の解消

・ 伊予鉄道(株) 上一万駅停留所 計 1 駅 (合計 138 駅※)

☆ 視覚障がい者誘導用ブロックの整備

・ 阿佐海岸鉄道(株) 穴喰駅、甲浦駅
 ・ 伊予鉄道(株) 上一万駅停留所 計 3 駅 (合計 225 駅※)

☆ 障がい者対応型トイレの設置

・ 高松琴平電気鉄道(株) 仏生山駅 計 1 駅 (合計 65 駅※)

※四国の全駅（492 駅）に占める適合駅の合計

<平成30年度中に導入されたバリアフリー車両等>

☆ 鉄軌道

・ 軌道車両 2 両

☆ 乗合バス

・ ノンステップバス 48 両
 ・ ワンステップバス 11 両

☆ 旅客船

・ バリアフリー基準適合船 4 隻

(2) 運輸局における推進施策

① バリアフリー推進体制の整備

令和元年7月17日第1回移動等円滑化評価会議四国分科会を開催し、四国内のバリアフリー化進捗状況評価及び各自治体、事業者の取組の共有、意見交換を行いました。



②	ソフト面の バリアフリ ー推進施策	<p>*小学生や交通事業者従業員等を対象にしたバリアフリー教室を開催しました。</p> <p><バリアフリー教室開催実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和元年10月7日、9日、11日 対象：徳島県バス協会会員事業者従業員 44名 ○令和元年10月23日 対象：徳島市立上八万小学校 4年生 47名 ○令和元年11月 5日 対象：徳島市立八万南小学校 4年生 89名 ○令和元年11月 8日 対象：藍住町立藍住西小学校 4年生 72名 ○令和元年11月11日 対象：徳島市立佐古小学校 4年生 74名
③	バリアフリ ー基本構想 及びバリア フリー化促 進方針の作 成支援	<p>*基本構想作成後、年月が経過している自治体や、3千人/日以上旅客施設を有するものの、基本構想が未策定の自治体に対して基本構想の作成・見直しについて、また、具体事業を位置づけずバリアフリー化の方向性を示すマスタープラン制度について、プロモートを実施しました。</p> <p><令和元年度プロモート実績></p> <ul style="list-style-type: none"> ○令和元年 7月 香川県三豊市 ○令和元年10月 徳島県徳島市 ○令和元年10月 愛媛県松山市 ○令和元年10月 香川県高松市 ○令和元年11月 高知県高知市
④	バリアフリ ー化財源の 確保	<p>*バリアフリー関係補助事業等を活用し、旅客施設及び車両等のバリアフリー化が進みました。なお、車両等に係る補助実績は以下のとおりです。</p> <p>平成30年度訪日外国人旅行者受入環境整備緊急対策事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○交通サービスインバウンド対応支援事業（インバウンド対応型鉄軌道車両整備） <ul style="list-style-type: none"> ・低床式鉄道車両 2両 ○交通サービスインバウンド対応支援事業（交通サービス利便向上促進事業） <ul style="list-style-type: none"> ・ユニバーサルデザインタクシー 1両（30年度補正予算） <p>平成30年度 地域公共交通確保維持改善事業費補助金</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域公共交通確保維持事業（車両減価償却費等） <ul style="list-style-type: none"> ・ノンステップバス 23両

（3）交通事業者におけるバリアフリー推進施策

①	旅客施設及 び車両等の 整備計画	<p>*交通事業者や運輸局関係部との情報交換等により、交通事業者のバリアフリー推進計画の把握に努めました。</p>
②	ソフト面の 対応	<p>*令和元年10月徳島市交通局において、バス事業者の従業員等を対象としたバリアフリー教室を開催しました。</p>

バリアフリー教室・バスの乗り方教室を開催

徳島市立上八万小学校

（令和元年 10 月 23 日）

令和元年 10 月 23 日（水）、四国運輸局と徳島運輸支局は、徳島市立上八万小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。教室には同小学校 4 年生 47 名が参加しました。

バスの乗り方教室では、徳島市交通局の協力を得て、ノンステップバスを校内に持ち込み、行き先の確認方法や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学び、車椅子利用者のバス乗降介助の実演やバス内部における固定方法を見学しました。

バリアフリー教室では、徳島市社会福祉協議会、社会福祉法人青香福祉会、徳島県立障がい者交流プラザ・視聴覚障がい者支援センターの講師の指導のもと、車椅子利用者疑似・介助体験と視覚障がい者疑似・介助体験を行いました。

車椅子体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障がい者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加した小学生のみなさんは、講師の話聞き実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。



少しのバリアも大変 ～車椅子利用者の疑似・介助体験～

徳島市立八万南小学校

（令和元年 11 月 5 日）

令和元年 11 月 5 日（火）、四国運輸局と徳島運輸支局は、徳島市立八万南小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には、4 年生 89 名が参加。バスの乗り方教室では、徳島市交通局のノンステップバスを校内に持ち込み、行き先の確認方法や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学習するとともに、バスに乗降する車椅子利用者の介助方法やバス内部における固定場所の見学をしました。バリアフリー教室では、徳島市社会福祉協議会、社会福祉法人青香福祉会、徳島県立障がい者交流プラザ・視聴覚障がい者支援センターの講師の指導のもと、車椅子利用者疑似・介助体験と視覚障がい者疑似・介助体験を行いました。



車椅子のまま乗車できます

～車椅子バス乗降介助実演～

車椅子体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障がい者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加した小学生のみなさんは、講師の話聞き実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。

藍住町立藍住西小学校

（令和元年 11 月 8 日）

令和元年 11 月 8 日（金）、四国運輸局と徳島運輸支局は、藍住町立藍住西小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には、4 年生 72 名が参加。バスの乗り方教室では、徳島バス株式会社の協力を得て、ノンステップバスを校内に持ち込み、整理券の取り方や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学び、車椅子利用者のバス乗降介助の実演やバス内部における固定方法を見学するとともに、バスの内輪差の学習もしました。

バリアフリー教室では、障がい当事者の方や藍住町社会福祉協議会職員及び社会福祉法人凌雲福祉会職員の指導のもと、車椅子利用者疑似・介助と視覚障がい者疑似・介助の二つの体験を行いました。

車椅子体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障がい者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加した小学生のみなさんは、講師の話をしっかりと聞き、実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。



下りの階段、気をつけて

～視覚障がい者の疑似・介助体験～

徳島市立佐古小学校

（令和元年 11 月 11 日）

令和元年 11 月 11 日（月）、四国運輸局と徳島運輸支局は、徳島市立佐古小学校において「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催しました。

教室には、4 年生 74 名が参加。バスの乗り方教室では、徳島バス株式会社の協力を得て、ノンステップバスを校内に持ち込み、行き先の確認方法や料金表の見方など基本的なバスの乗り方について学習しました。

また、バリアフリーに対応したノンステップバスの特徴を学び、バスに乗降する車椅子利用者の介助方法やバス内部における固定方法を見学するとともに、バスの内輪差の学習もしました。

バリアフリー教室では、徳島市社会福祉協議会、社会福祉法人青香福祉会、徳島県立障がい者交流プラ



風船が？内輪差 ～バスの乗り方教室～

ザ・視聴覚障がい者支援センターの講師の指導のもと、車椅子利用者疑似・介助体験と視覚障がい者疑似・介助体験を行いました。

車椅子体験では利用する人と介助する人の大変さを体験し、視覚障がい者疑似体験では目の不自由な方の介助方法を教わり、アイマスクを着用して移動する困難さを体験しました。

参加した小学生のみなさんは、講師の話を聞き実際に疑似・介助体験することにより、相手の立場を理解し協力することの大切さを学びました。

◇申し込み方法◇

バリアフリー教室開催をご希望の方は、お電話
又はメールにて、消費者行政・情報課までご連絡
ください。

TEL：087-802-6727

MAIL：skt-syougyouka3012@mlit.go.jp

担当：出海、谷本

ご連絡の際は、以下の内容をお伝え願います。

- ①学校名
- ②窓口となる先生の氏名
- ③連絡先電話番号
- ④対象学年
- ⑤クラス数、人数
- ⑥開催希望日（第1～3希望）
- ⑦開催時間帯（午前か午後か）

バリアフリー教室を初めて開催しました

～（一社）徳島県バス協会の取り組み紹介～

一般社団法人 徳島県バス協会（会長 金原 克也）では、さらなる接客・接遇サービスの向上に活かすため、協会としては初めての「バリアフリー教室」を開催し、徳島市内の事業者を中心に、県内各事業者から乗務員が参加しました。（令和元年10月に3回開催し、44名が参加）

教室では、徳島県介護実習・普及センター講師の指導のもと、高齢者疑似体験を実施。まず参加者は足やひざに重しを付けたり、見えにくくなるゴーグル等を着用して、ノンステップバスとツーステップバスの両方に乗り込み、乗降のしやすさの違いを体験しました。車内では、車内表示が見えるか、降車ボタンがスムーズに押せるか等、お年寄りがバス利用時に感じる不自由さを体験しました。

また、車椅子利用者のバス乗降時の介助方法や、車内での固定方法について、再確認しました。四国運輸局からも障害者差別解消法の概要を説明するとともに、実際の対応事例を紹介しました。参加した乗務員からは、「すごく大変なことが分かった。高齢者には親切・丁寧な対応を心掛けたい。」「周りの状況が分からず、あせってしまった。」といった感想がありました。



みなさんからのご意見・ご投稿をお待ちしています。バリアフリーに関するものならなんでも結構です。四国運輸局消費者行政・情報課まで、FAXまたはメールでお寄せください。



〒760-0019 香川県高松市サンポート3番33号
高松サンポート合同庁舎南館(4F)
電話 087(802)6727
FAX 087(802)6723
Email: skt-syougyouka3012@mlit.go.jp



国土交通省

四国運輸局ホームページも是非ご覧ください

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/>

このニュースは、交通バリアフリー関係の話題を中心に、四国4県自治体のバリアフリー関係担当部署、交通事業者及び地域のNPOの方にお送りしています。このニュースの配信につきまして、配信先の追加、変更や停止をご希望される方は、お手数ですが本メールの返信機能でご連絡ください。